

よりよい高齢社会の実現をめざして

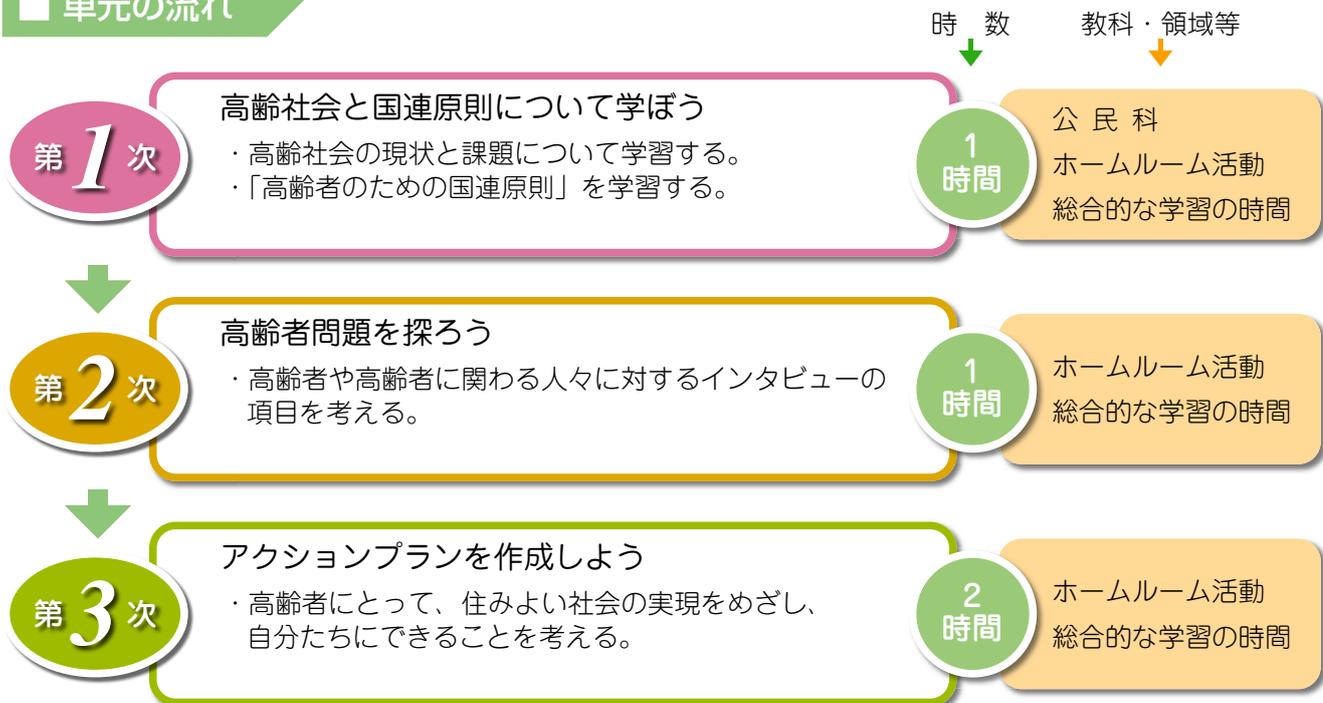
高齢者の人権

単元の目標

- 1 社会に存在する人権問題について科学的な認識を深めるとともにそれを生み出す社会構造等にも目を向け、人権基準等に照らして多くの仲間と共に解決に向けて取り組もうとする。
(2-⑦具体的な人権課題)
- 2 様々な活動への参画を通して社会の一員としての自覚を持ち、よりよい学校、地域や国際社会をつくるために、積極的に意志決定に参加・参画し、多くの仲間と共に行動しようとする。
(3-⑩参加・参画)



単元の流れ



第1次 高齢社会と国連原則について学ぼう

目 標

- 「高齢者のための国連原則」を理解する。(単元目標 1)

準 備 物

- ・ ワークシート ① 「高齢社会について」
- ・ 資料 ① 「高齢者のための国連原則」(『気づく・学ぶ・広げる 人権学習』P74)
- ・ ワークシート ② 「65歳からの生活について保護者にインタビューしてみよう！」

展 開 【1】

学 習 活 動

1

各自でワークシート①「高齢社会について」を読み、正解を考える。

2

資料①「高齢者のための国連原則」を読む。

3

4人程度のグループでワークシート②「65歳からの生活について保護者にインタビューしてみよう！」を使って、インタビューの質問を考える。

※家庭で、「65歳からの生活」について、保護者等にインタビューを行う。

支 援 及 び 留 意 点

・ 正解を考えることで、日本や和歌山の高齢社会の実態に気づかせる。

・ 日常生活では当たり前だと思われることが、実は人間の尊厳と大きくかわっていることに気づかせる。

・ 国連原則の5項目の内容を参考にさせる。

5 項目

- 自 立
- 参 加
- ケ ア
- 自己実現
- 尊 厳

評 価 規 準

国連原則の5項目を、正しく理解し、質問を作成している。

【知 識】

ポ イ ン ト

- 我が国の高齢社会と和歌山県の高齢者の現状に興味をもたせ、高齢者の生活や問題を理解しようとする姿勢を育てましょう。また、国連原則を学ぶことを通じて高齢者の人権が国際的に保障されていることを理解させましょう。



[1] ワークシート①

「高齢社会について」

次の質問に答えましょう！

- 1 日本の高齢者人口（65歳以上の）の割合は世界で何位？
(1) 1位 (2) 2位 (3) 3位 (4) 4位
- 2 和歌山県の高齢者人口比率を全国平均と比べると？
(1) 高い (2) 低い (3) 同じである
- 3 和歌山県の高齢者の平均年間収入額は？
(1) 100万円未満 (2) 100万円以上 300万円未満
(3) 300万円以上 400万円未満 (4) 400万円以上 500万円未満
- 4 和歌山県の高齢者が収入を伴う仕事をしている割合は？ 男性（ ）女性（ ）
(1) 0%～10% (2) 11%～20% (3) 21%～30% (4) 31%～40% (5) 41%～50%
- 5 和歌山県の高齢者で自分を健康であると感じている人の割合は？
(1) 21%～30% (2) 31%～40% (3) 41%～50% (4) 51%～60% (5) 61%～70%
- 6 和歌山県の高齢者が生きがいを感じていることは？
(1) 孫や子との団らん (2) 夫婦や家族の団らん (3) 個人で行う趣味の活動
(4) 友人・知人との食事や雑談 (5) 仕事
- 7 和歌山県の高齢者が悩みや不安を感じていることは？
(1) 自分の健康や病気について (2) 同居している家族の健康や病気について
(3) 自分の介護について (4) 子や孫の将来について



(正解と解説)

- 1 正解は(1)
- 2 正解は(1) 2010年(平成22年)には35%を越える(全国平均は29.8%)。
- 3 正解は(2) (1) 35.3% (2) 45.3% (3) 9.1% (4) 2.3%
- 4 正解は(4)と(2) 男性で32.9% 女性で17.7%となっている。
- 5 正解は(5) 自らを健康と感じている人は67.7%である。
- 6 正解は(1) (1) 36.3% (2) 29.4% (3) 28.1% (4) 28.0% (5) 27.8%
- 7 正解は(1) (1) 54.7% (2) 31.2% (3) 27.5% (4) 20.8%

参考 1: 総務省 平成17年国勢調査抽出速報集計結果の概要より
2: 和歌山県 HP 平成12年国勢調査より国立社会保障、人口問題研究所「都道府県別世帯数の将来推計 2000年平成12年3月推計」より
3～7: 和歌山県 高齢者一般意向調査報告書より (H17.3月)

[1] ワークシート②

「65歳からの生活について保護者にインタビューしてみよう！」

インタビューの相手（ ） 名前（ ）

		質 問	回 答
自 立	1		
	2		
参 加	3		
	4		
ケ ア	5		
	6		
自己 実現	7		
	8		
尊 厳	9		
	10		

第2次 高齢者問題を探ろう

目 標

- 「高齢者のための国連原則」に基づいて、高齢者を取り巻く様々な問題についてのインタビューの質問を作ることができる。(単元目標1)

準 備 物

- ・ワークシート③「質問作成シート」

展 開 【2】

学 習 活 動

1

保護者へのインタビュー結果をグループ内でまとめる。

2

グループのまとめを全体に発表する。

3

グループでワークシート③を使って、身近な高齢者や高齢者介護にかかわる方等に対するインタビューの質問を考える。



※課外活動として、作成した質問についてインタビューを行う。

支 援 及 び 留 意 点

- ・グループ内で発表し合い、まとめさせる。

- ・国連原則の5項目に基づいて、インタビューの質問を考えさせる。

インタビュー依頼者(例)

- 一人暮らしの高齢者
- 高齢者介護に携わっている方
- 高齢者にかかわる NPO 団体員
- ケアマネージャー
- 社会福祉協議会事務局員

- ・放課後等を利用して、グループ単位でインタビューを行わせる。

評 価 規 準

国連原則の5項目に基づいてインタビューの質問を作ることができる。

【技 能】

ポ イ ン ト

- 法整備やNPOの活動、介護の実態、一人暮らしの高齢者の生活実態等、生徒が幅広く認識できるように、色々な立場の人から話を聞かせるようにしましょう。

「質問作成シート」

グループ名	()
メンバー名	() ()
	() ()
インタビュー依頼者	()
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

第3次 アクションプランを作成しよう

目 標

- 仲間とともに高齢者の人権を保障するためのアクションプランを作成できる。(単元目標 1)
- よりよい地域をつくるために積極的に参加・参画しようとする態度を育む。(単元目標 2)

準 備 物

- ・資料②「田辺工業高校マンスリータイムズ」平成16年9月号、平成17年9月号他
- ・ワークシート④「人権アクションプラン」

展 開 【3】

学 習 活 動

1

インタビューの結果について、グループで話し合い、その後、全体に発表する。

2

グループの発表を聞き、問題点を整理し、自分たちで解決できることを考える。

3

県内の高校生の活動を知り、グループで取り組むテーマを設定する。

4

ワークシート④「人権アクションプラン」を作成する。

5

グループごとに作成したプランを発表し、評価し合う。

6

出された意見を参考に、グループで取組の実現に向け、話し合う。

支 援 及 び 留 意 点

- ・保護者へのインタビュー結果と比較させる。
- ・高齢者を取り巻く状況を、法整備やNPOの活動、介護の実態、一人暮らしの高齢者の生活実態等の、あらゆる角度から理解させる。
- ・資料②「田辺工業高校マンスリータイムズ」を配付し、県内の高校生の活動等を紹介する。
- ・一人暮らしの高齢者を定期的に訪問する、災害時の避難場所について高齢者にもわかりやすいパンフレットを作成する等、高校生が実行できるプランを作成させる。

評 価 規 準

情報を収集・吟味・分析し、グループで取り組む活動のテーマ決定に生かすことができる。

【技 能】

アクションプランの作成に積極的に取り組もうとしている。

【価値 態度】

ポ イ ン ト

- プランの実行に長時間を要する場合は、長期休暇を利用するなど工夫させましょう。また、クラスの取組を文化祭等の行事で発表・展示するなど、地域に発信させましょう。

